

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校
設置者名	学校法人龍澤学館

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	高度情報工学科	夜・通信	340時間	320時間	
	総合システム工学科	夜・通信	314時間	240時間	
	情報システム科	夜・通信	182時間	160時間	
	ネットワークセキュリティ科	夜・通信	242時間	160時間	
	情報ビジネス科	夜・通信	180時間	160時間	
	ビジネス教養科	夜・通信	220時間	160時間	
	総合デザイン科	夜・通信	252時間	240時間	
	デザイン科	夜・通信	224時間	160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.mclnet.jp/information/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校
設置者名	学校法人 龍澤学館

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.mclnet.jp/information/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社顧問	2020.1.17～2024.1.16 (4年)	産業界からの人材育成に対するアドバイス
非常勤	会社相談役	2020.1.17～2024.1.16 (4年)	産業界からの人材育成に対するアドバイス
非常勤	会社取締役頭取	2020.1.17～2024.1.16 (4年)	産業界からの人材育成に対するアドバイス
非常勤	会社相談役	2020.1.17～2024.1.16 (4年)	産業界からの人材育成に対するアドバイス
非常勤	元高等学校校長	2020.1.17～2024.1.16 (4年)	教育経験に基づいた教育事業に対するアドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校
設置者名	学校法人龍澤学館

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>当該学年が新年度を迎える前年度の12月までに、カリキュラムの変更案について教務担当者間で協議し、学内会議を経て1月の理事会に諮る。これにより承認されたカリキュラムを基に、シラバス案を各科目担当者が作成し、各学科の教務主任が取りまとめて確認した上で、学内会議での承認を得る。(2～3月)</p> <p>シラバス案の作成にあたっては、検討委員会で協議し決定したガイドラインおよび共通フォーマットを提示することにより、必要記載事項がもれなく適切に記載されるよう留意する。</p> <p>4月、新年度の各学科の授業開始までに「学生の手引き」を用いた履修ガイダンスを実施する。併せて、シラバスを随時確認できるよう、ホームページでも公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.mclnet.jp/information/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか(複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある)により、学修成果を評価し、厳格かつ適正に履修認定を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象となるテストの得点率60%以上 ・課題提出の提出状況および内容の完成度 ・検定試験結果 ・プレゼンテーション審査 ・出席率80%以上 ・受講態度 <p>各科目における最終評価は5段階(秀・優・良・可・不可)とし、不可の評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学生が年度末までに得た成績評価を数値化し、総受講科目の合計値を求め受講科目数で除して得られる数値を、学生の「個別評価平均値」として算出し、学科内での成績分布状況を把握する際の指標とする。 ただし、「個別評価平均値」算出にあたり、次の科目は対象外とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ ・自由選択科目 <p>※成績評価を受ける前の段階において、成績の分布状況を把握する必要が生じた際には、小テストや模擬試験等の得点をもとに学科内の平均点や個別の総得点を算出し、指標とすることもある。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.mclnet.jp/information/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーは、学科教員間で検討した原案を基に、学内会議で協議した上で承認されたものを、学生の手引きへの掲載・配布することにより、学生へ周知する。また、これらの内容については、随時確認できるようホームページ上でも公開している。</p> <p>卒業認定については、卒業年次の1月末までに得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。</p> <p>《ディプロマポリシー》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会や産業界の発展に貢献するために必要な高度な専門知識・技術と教養を身につけている 2. 他者と協働して物事に取り組む上で、互いを尊重して相互理解を図ることができる 3. 専門分野に限らず、社会の様々な事象に関心を持って情報収集や分析、課題発見をすることができる 4. 社会の変化や課題を多角的・多面的に捉え、専門性を発揮して課題解決を図ることができる 5. 常に挑戦し続ける姿勢を持ち、自己の成長に向けて計画的・主体的に実践することができる 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.mclnet.jp/information/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校
設置者名	学校法人龍澤学館

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.mclnet.jp/information/
収支計算書又は損益計算書	http://www.mclnet.jp/information/
財産目録	http://www.mclnet.jp/information/
事業報告書	http://www.mclnet.jp/information/
監事による監査報告（書）	http://www.mclnet.jp/information/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	高度情報工学科	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,400 時間	1,109 時間	2,706 時間	1,105 時間	0 時間	0 時間
		4,920 時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		31人	0人	6人	6人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学内会議を経て理事会にて承認されたカリキュラムを基に、各科目担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等について記載した授業計画案を作成し、学内会議の承認を得て年間の授業計画を決定する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか（複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある）により、学習成果を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象となるテストの得点率 60%以上 ・課題提出の提出状況および内容の完成度 ・検定試験結果 ・プレゼンテーション審査 ・出席率 80%以上 ・受講態度 <p>各科目における最終評価は5段階（秀・優・良・可・不可）とし、不可の評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。</p>

卒業・進級の認定基準
(概要) 進級認定については進級年次の2月末までに、卒業認定については卒業年次の1月末までに、それぞれ得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、進級・卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。
学修支援等
(概要) クラス担任制で、生活面や学習面の相談・指導等において、必要に応じて保護者とも連携を図りながら個別対応を行っている。 キャリア支援課を設置し、学生の進路(就職、進学、編入学)活動について担任と連携して支援・指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 富士ソフト株式会社 ほか IT関連企業			
(就職指導内容) ・自己分析指導、業界・企業研究指導、個別面接指導 ・校内業界職業研究会の開催、校内企業説明会の開催 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 情報処理安全確保支援士、基本情報技術者、応用情報技術者、Javaプログラミング能力認定試験、Webクリエイター能力認定試験、Python3エンジニア認定基礎試験 他			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	1人	6.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本人及び保護者との面談、転科等の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	総合システム工学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,550 時間	1,059 時間	3,667 時間	532 時間	0 時間	0 時間
			5,258 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		52人	1人	6人	9人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学内会議を経て理事会にて承認されたカリキュラムを基に、各科目担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等について記載した授業計画案を作成し、学内会議の承認を得て年間の授業計画を決定する。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか（複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある）により、学習成果を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象となるテストの得点率 60%以上 ・課題提出の提出状況および内容の完成度 ・検定試験結果 ・プレゼンテーション審査 ・出席率 80%以上 ・受講態度 <p>各科目における最終評価は5段階（秀・優・良・可・不可）とし、不可の評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>進級認定については進級年次の2月末までに、卒業認定については卒業年次の1月末までに、それぞれ得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、進級・卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>クラス担任制で、生活面や学習面の相談・指導等において、必要に応じて保護者とも連携を図りながら個別対応を行っている。</p> <p>キャリア支援課を設置し、学生の進路（就職、進学、編入学）活動について担任と連携して支援・指導を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	21人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) PFUIT サービス株式会社、株式会社 IBC ソフトアルファ ほか IT 関連企業
(就職指導内容) ・ 自己分析指導、業界・企業研究指導、個別面接指導 ・ 校内業界職業研究会の開催、校内企業説明会の開催 等
(主な学修成果 (資格・検定等)) 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ITパスポート試験、Java プログラミング能力認定試験、Web クリエイター能力認定試験、HTML5 プロフェッショナル認定資格 他
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54 人	3 人	5.6%
(中途退学の主な理由) 病気療養、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本人及び保護者との面談、転科等の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	情報システム科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,700 時間	687 時間	1,146 時間	625 時間	0 時間	0 時間
		2,458 時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		131 人	2 人	6 人	5 人	11 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 学内会議を経て理事会にて承認されたカリキュラムを基に、各科目担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等について記載した授業計画案を作成し、学内会議の承認を得て年間の授業計画を決定する。
成績評価の基準・方法
(概要) 各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか (複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある) により、学習成果を評価する。 ・ 評価対象となるテストの得点率 60%以上 ・ 課題提出の提出状況および内容の完成度 ・ 検定試験結果

<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション審査 ・出席率 80%以上 ・受講態度 <p>各科目における最終評価は5段階（秀・優・良・可・不可）とし、不可の評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 進級認定については進級年次の2月末までに、卒業認定については卒業年次の1月末までに、それぞれ得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、進級・卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） クラス担任制で、生活面や学習面の相談・指導等において、必要に応じて保護者とも連携を図りながら個別対応を行っている。 キャリア支援課を設置し、学生の進路（就職、進学、編入学）活動について担任と連携して支援・指導を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
59人 (100%)	2人 (3.4%)	50人 (84.7%)	7人 (11.9%)
<p>（主な就職、業界等） 株式会社アイシーエス、エリクソンジャパン株式会社 ほか IT 関連企業</p>			
<p>（就職指導内容） ・自己分析指導、業界・企業研究指導、個別面接指導 ・校内業界職業研究会の開催、校内企業説明会の開催 等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ITパスポート試験、Java プログラミング能力認定試験、実践 Java 技術者 Expert、Web クリエイター能力認定試験 他</p>			
<p>（備考）（任意記載事項） 大学3年次編入：岩手県立大学、サイバー大学</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
118人	0人	0%
<p>（中途退学の主な理由） 該当者なし</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 本人及び保護者との面談、転科等の実施</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	ネットワークセキュリティ科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 時間	815 時間	1,224 時間	314 時間	0 時間	0 時間
			2,353 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		21人	0人	6人	4人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>学内会議を経て理事会にて承認されたカリキュラムを基に、各科目担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等について記載した授業計画案を作成し、学内会議の承認を得て年間の授業計画を決定する。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか（複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある）により、学習成果を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象となるテストの得点率 60%以上 ・課題提出の提出状況および内容の完成度 ・検定試験結果 ・プレゼンテーション審査 ・出席率 80%以上 ・受講態度 <p>各科目における最終評価は5段階（秀・優・良・可・不可）とし、不可の評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>進級認定については進級年次の2月末までに、卒業認定については卒業年次の1月末までに、それぞれ得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、進級・卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制で、生活面や学習面の相談・指導等において、必要に応じて保護者とも連携を図りながら個別対応を行っている。</p> <p>キャリア支援課を設置し、学生の進路（就職、進学、編入学）活動について担任と連携して支援・指導を行っている。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

15人 (100%)	0人 (0%)	15人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) インフォコム東日本、IIJ エンジニアリング ほか IT 関連、情報通信関連企業			
(就職指導内容) ・自己分析指導、業界・企業研究指導、個別面接指導 ・校内業界職業研究会の開催、校内企業説明会の開催 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ITパスポート試験、Javaプログラミング能力認定試験、Webクリエイター能力認定試験、CCENT 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 該当なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本人及び保護者との面談、転科等の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	情報ビジネス科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 時間	624 時間	1,296 時間	0 時間	0 時間	0 時間
			1,920 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		60人	0人	2人	5人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 学内会議を経て理事会にて承認されたカリキュラムを基に、各科目担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等について記載した授業計画案を作成し、学内会議の承認を得て年間の授業計画を決定する。
成績評価の基準・方法
(概要) 各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか(複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある)により、学習成果を評価する。 ・評価対象となるテストの得点率60%以上

<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出の提出状況および内容の完成度 ・検定試験結果 ・プレゼンテーション審査 ・出席率 80%以上 ・受講態度 <p>各科目における最終評価は5段階（秀・優・良・可・不可）とし、不可の評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級認定については進級年次の2月末までに、卒業認定については卒業年次の1月末までに、それぞれ得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、進級・卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制で、生活面や学習面の相談・指導等において、必要に応じて保護者とも連携を図りながら個別対応を行っている。</p> <p>キャリア支援課を設置し、学生の進路（就職、進学、編入学）活動について担任と連携して支援・指導を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35人 (100%)	0人 (0%)	34人 (97.1%)	1人 (2.9%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>東日本高速道路株式会社、株式会社岩手銀行、株式会社カインズ ほか県内外企業</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己分析指導、業界・企業研究指導、個別面接指導 ・校内業界職業研究会の開催、校内企業説明会の開催 等 			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>ITパスポート試験、Microsoft Office Specialist、日本商工会議所主催簿記検定、ファイナンシャル・プランニング技能検定、ビジネス実務マナー検定 他</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
69人	2人	2.9%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>病気療養、進路変更</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>本人及び保護者との面談、転科等の実施</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	ビジネス教養科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 時間	340 時間	1,412 時間	0 時間	0 時間	0 時間
			1,752 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		0人	0人	1人	3人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学内会議を経て理事会にて承認されたカリキュラムを基に、各科目担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等について記載した授業計画案を作成し、学内会議の承認を得て年間の授業計画を決定する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか（複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある）により、学習成果を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象となるテストの得点率 60%以上 ・課題提出の提出状況および内容の完成度 ・検定試験結果 ・プレゼンテーション審査 ・出席率 80%以上 ・受講態度 <p>各科目における最終評価は5段階（秀・優・良・可・不可）とし、不可の評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級認定については進級年次の2月末までに、卒業認定については卒業年次の1月末までに、それぞれ得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、進級・卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制で、生活面や学習面の相談・指導等において、必要に応じて保護者とも連携を図りながら個別対応を行っている。</p> <p>キャリア支援課を設置し、学生の進路（就職、進学、編入学）活動について担任と連携して支援・指導を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他

0人 (—)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 県内外企業事務職等を想定			
(就職指導内容) ・自己分析指導、業界・企業研究指導、個別面接指導 ・校内業界職業研究会の開催、校内企業説明会の開催 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) Microsoft Office Specialist、Illustrator/Photoshopクリエイター能力認定試験 他			
(備考) (任意記載事項) 在校生の転科を想定した学科として2020年度新設、2021年度在籍なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 該当なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本人及び保護者との面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	総合デザイン科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,550 時間	148 時間	744 時間	1,844 時間	0 時間	0 時間
		2,736時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		13人	0人	4人	10人	14人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 学内会議を経て理事会にて承認されたカリキュラムを基に、各科目担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等について記載した授業計画案を作成し、学内会議の承認を得て年間の授業計画を決定する。
成績評価の基準・方法
(概要) 各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか(複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある)により、学習成果を評価する。 ・評価対象となるテストの得点率60%以上 ・課題提出の提出状況および内容の完成度

<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験結果 ・プレゼンテーション審査 ・出席率 80%以上 ・受講態度 <p>各科目における最終評価は5段階（秀・優・良・可・不可）とし、不可の評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級認定については進級年次の2月末までに、卒業認定については卒業年次の1月末までに、それぞれ得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、進級・卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制で、生活面や学習面の相談・指導等において、必要に応じて保護者とも連携を図りながら個別対応を行っている。</p> <p>キャリア支援課を設置し、学生の進路（就職、進学、編入学）活動について担任と連携して支援・指導を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	4人 (66.7%)	2人 (33.3%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>アイリスオーヤマ株式会社 ほか県内外企業</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己分析指導、業界・企業研究指導、個別面接指導 ・校内業界職業研究会の開催、校内企業説明会の開催 等 			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>Illustrator/Photoshop クリエイター能力認定試験エキスパート、カラーコーディネーター検定3級、デザイングランプリ東北2018期待賞、おいしい東北パッケージデザイン入選 他</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	1人	5.9%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>病気療養</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>本人及び保護者との面談、転科等の実施</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	デザイン科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 時間	512 時間	672 時間	544 時間	0 時間	0 時間
			1,728 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	137人	0人	4人	16人	20人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 学内会議を経て理事会にて承認されたカリキュラムを基に、各科目担当者が授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等について記載した授業計画案を作成し、学内会議の承認を得て年間の授業計画を決定する。
成績評価の基準・方法
(概要) 各授業科目の特性に応じ、以下の項目のいずれか（複数項目の場合には、項目間の評価割合を規定する場合もある）により、学習成果を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象となるテストの得点率 60%以上 ・課題提出の提出状況および内容の完成度 ・検定試験結果 ・プレゼンテーション審査 ・出席率 80%以上 ・受講態度 各科目における最終評価は5段階（秀・優・良・可・不可）とし、不可の評価を得た際には、当該科目の履修修了要件を満たさないものと判定する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級認定については進級年次の2月末までに、卒業認定については卒業年次の1月末までに、それぞれ得た成績評価および学費納入状況を踏まえ、進級・卒業認定委員会での審議を経て学校長が決定する。
学修支援等
(概要) クラス担任制で、生活面や学習面の相談・指導等において、必要に応じて保護者とも連携を図りながら個別対応を行っている。 キャリア支援課を設置し、学生の進路（就職、進学、編入学）活動について担任と連携して支援・指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

40人 (100%)	1人 (2.5%)	25人 (62.5%)	14人 (35.0%)
(主な就職、業界等) 岩手日報広告社、株式会社マッドボックス、株式会社タカヤ ほか県内外企業			
(就職指導内容) ・自己分析指導、業界・企業研究指導、個別面接指導 ・校内業界職業研究会の開催、校内企業説明会の開催 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 建築CAD検定2級、Illustrator/Photoshopクリエイター能力認定試験エキスパート、 第11回いわてマンガ大賞 学生の部金賞 ほか			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
121人	5人	4.1%
(中途退学の主な理由) 病気療養、進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本人及び保護者との面談、転科等の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
・高度情報工学科	70,000円	570,000円	565,000円	【その他】 ・施設設備費 ・維持費 ・補助活動費
・総合システム工学科			558,000円	
・情報システム科			556,000円	
・ネットワークセキュリティ科			563,000円	
・情報ビジネス科			524,000円	
・ビジネス教養科			524,000円	
・総合デザイン科			592,000円	
・デザイン科			594,000円	
修学支援 (任意記載事項)				
高度情報工学科4年生のみ改定前学費 (授業料460,000円)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.mclnet.jp/information/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>毎年度末に実施する「自己点検・評価」の結果に基づき、企業等委員 (3 名以上) および卒業生委員 (2 名以上) で構成される学校関係者評価委員会において、実務に関する知見を活かして教育目標や教育環境など学校運営全般について評価を実施する。その評価結果を学校運営会における改善事項の提案に反映し、学校運営会や職員会において具体的な方策を検討し改善に活かしていく。このことにより、地域で必要とされる人材の育成のための教育の質の向上、学生支援、卒業後支援、社会活動等の充実とともに、健全かつ安定した学校運営を図ることを基本方針とする。</p> <p>なお、委員会の運営には委員長 1 名、副委員長 1 名のほか、学校職員 (2 名以上) も事務局として携わる。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 I B C ソフトアルファ	2 年 2021. 4. 1～2023. 3. 31	企業等委員
北日本銀行株式会社	2 年 2022. 4. 1～2024. 3. 31	企業等委員
有限会社クリップ	2 年 2021. 4. 1～2023. 3. 31	企業等委員
	2 年 2021. 4. 1～2023. 3. 31	卒業生
	2 年 2021. 4. 1～2023. 3. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.mclnet.jp/information/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://morijobi.ac.jp/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。